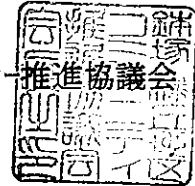


平成26年 5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | コミュニティ紙等発行事業 |
| 事業実施前の状況 | 例年、当コミュニティ推進協議会の提案事業、地域のイベント、防災キャンペーン等の内容で4000部を発行し、校区内の全戸配布を実施している。 |
| 事業実施後の状況 | 25年度は、花しょうぶ祭りでの野点、緑丘2丁目公園のリニューアル、ワクワクドキドキ探検隊、星座観察会、オオクワガタムシ育成講習会、音楽の宝石箱、市民レクリエーション大会、水月児童文化センター前でのミニコンサートとフリーマーケット等の当コミュニティ推進協議会の提案事業の紹介のほか、交通安全や防災キャンペーンなどを報じたHAMICを3回および防災特集号を発行し、地域の全戸に配布した。 |
| 事業の効果 | 花しょうぶ祭りでの野点では、HAMICに印刷された高齢者招待券を利用された方が数十名あった。 |
| 今後の課題等 | 今後も地域密着型の記事を報道し、地域分権の普及および地域活性化の一助とする。 |

平成26年 5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | アルビス緑丘中央公園時計整備事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 当該公園には、従来、時計が設置されておらず、公園利用者にとってふべんであった。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 公園南西部の建屋の外壁に保護ガード付きの時計を設置した。 |
| 事業の効果 | 1) 公園利用者が時間を確認できるようになり、好評である。 |
| 今後の課題等 | 1) 時間を忘れて遊ぶ子供たちがいないかどうか注意するとともに、いる場合は付近の住人が適切に指導していく必要がある。 |

様式第5号（第7条関係）

平成26年 5月8日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

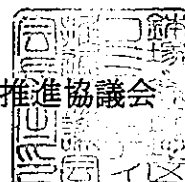
| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 防災資機材整備事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 地域には大型の水銀灯や発電機はあるが、軽便な照明機材がない状態であった。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 非常用照明器具および30mコードリール2台を購入し、非常時に加え、日常の夜間イベントでもしばしば活用している。 |
| 事業の効果 | 1) 非常に軽便なため、地域の各種団体へも貸し出し、活用している。 |
| 今後の課題等 | 1) 特になし |

平成25年 5月 3 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティー推進協議会
 代表者名 山岡 照幸



記

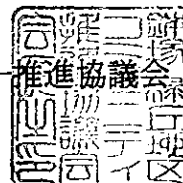
| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 地域イベント開催事業（花しょうぶ祭り移動動物園招致と野点の会およびミニコンサートとフリーマーケット） |
| 事業実施前の状況 | 1) 23年度に、当コミュニティー推進協議会と水月茶の湯の会で復活させた野点は、多くの方に楽しんでもらっている。 2) 移動動物園は、毎年実施してきており、大好評である。 3) 水月児童文化センター前の広場に設置した野外ステージやテラスの活用を具体化する必要がある。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 25年度は、約1300名の来園者に野点を楽しんでもらうことができた。また、地域の高齢者にとっても憩いの場となった。また、水月茶の湯の会の指導のもと、約30名の地元住民がスタッフとして参加することが出来た。 2) 移動動物園では多くの未就学児童が小動物との触れ合いを楽しんでいた。 3) 水月児童文化センター前に完成した野外ステージを活用し、幼児向けのミニコンサートを開催し、同時に有志を募りフリーマーケットを実施した。また、今後も継続する。 |
| 事業の効果 | 1) 幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる地域イベントとなった。 |
| 今後の課題等 | 1) 地域のイベントを今後も活性化するため、これらの事業を継続させる必要がある。 2) 野点については、さらに多くの地元住民がスタッフとなり、運営を支えていく体制を構築する必要がある。 |

平成26年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



改修記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 公園施設回収事業 |
| 事業実施前の状況 | 緑丘2丁目公園は、遊具の老朽化が激しい上、水はけや美観も悪い状況であった。また、就学前の子供の利用が多いにもかかわらず、幼児向けの遊具が少なかった。 このため、H24年度は、ブランコ以外の旧式の遊具を撤去し、水はけを改良した。 また、花壇を設置し、明るい公園に改修した。 |
| 事業実施後の状況 | H25年度は、主に幼児向けのコンビネーション遊具等を設置した。 また、付近の住民有志が、清掃グループを作り活動を開始した。 |
| 事業の効果 | 公園全体が明るい雰囲気となり、利用者から好評を得ている。 |
| 今後の課題等 | 引き続き、清掃活動を継続する。 |

平成26年 5月 3 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 昆虫育成講習会実施事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 昨年より、オオクワガタムシ育成講習会を開催し、生命の大切さ・生命を育むことの素晴らしさを伝えてきた。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 本年もオオクワガタムシ育成講習会を特定非営利活動法人NPOクワガタ探検隊に委託し年3回実施した結果、毎回50組約100名の参加者があった。 |
| 事業の効果 | 1) 未就学児童から小学生までが、オオクワガタムシ育成講習会を楽しむとともに、生命の大切さを学んだ。また、講習会を通じて親子のコミュニケーションが活発に行われた。 |
| 今後の課題等 | 1) 事業運営の効率化、円滑化を図る。 |

平成26年 5月 8 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ協議会
代表者名 山岡照幸



記

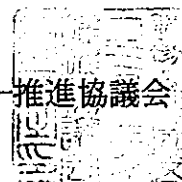
| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 学校施設改修事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 学校施設は広く地域住民に開放されているが、トイレは教職員用を利用するしかなく、体育館やグラウンドの利用者にとっては不便であった。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 屋外のプール脇のトイレを子供用から大人用の洋式トイレに改修した。 |
| 事業の効果 | 1) 体育館やグラウンドの利用者にとり便利になった。 |
| 今後の課題等 | 1) 特になし |

平成26年 5月27日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

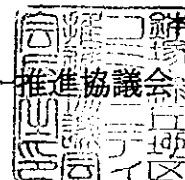
| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 緑丘小学校イルミネーション支援事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 緑丘小学校の冬季イルミネーション用電球の老朽化が顕著であった。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 老朽化により球切れとなったものを補充するとともに、省エネのためLEDライトを購入した。 |
| 事業の効果 | 1) 例年通り、イルミネーションが実施でき、子供たちや近隣住民を楽しませている。 |
| 今後の課題等 | 1) 引き続き、球切れ補充の考え方で、適切に支援していく。 |

平成26年 5月 8 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ
代表者名 山岡 照 幸



記

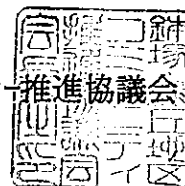
| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | 子ども安全見守り隊支援事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 登下校時の児童の見守り活動の必要性は、昨今、特に注目されている。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 緑丘小学校の子ども安全見守り隊の活動を支援するため、道路横断旗とベストを配備した。 |
| 事業の効果 | 1) 登下校時の児童の見守り活動の重要性が再認識された。 |
| 今後の課題等 | 1) 学校、PTA と地域住民の連携で、子供の見守りを持続する必要がある。 |

平成26年 5 月 2 / 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会
 代表者名 山岡 照 幸



記

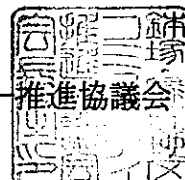
| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | ふれあい講習会開催事業（星座観察会、音楽の宝石箱） |
| 事業実施前の状況 | 1) 例年、夏は体育館でのイベントと天体望遠鏡による星座観察、冬はプラネタリウムと天体望遠鏡による星座観察を行ってきた 2) 地域イベントの「ふれあいフェスティバル」の午後の部として音楽の宝石箱を企画し、大阪音楽大学の協力を得て実施してきた。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 夏の星座観察会は、気象警報発令のため中止した。これによる混乱はなかった。冬は、屋外での天体観測のほか、体育館でのスライドショーまたプラネタリウムを親子参加型で開催した。 3) 関西を代表するオペラ歌手の生の歌声楽しんだほか、歌手の指導のもと、参加している子供達を含め全員で「花は咲く」を大合唱した。 |
| 事業の効果 | 1) 未就学児童から保護者まで幅広い年齢層の参加者延べ160名が楽しめる教育イベントとなった。 2) 約150名の参加者が、プロの迫力のある歌声を堪能した。また、親子に馴染みのある楽曲の合唱を楽しんだ。アンケートでも、来年の開催を要望する声が多かった。 |
| 今後の課題等 | 1) 地域の児童科学教育として、本事業を継続させることが必要である。 2) 今後も、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が楽しめる内容とする。また、参加者の更なる増加を図る。 |

平成26年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ
代表者名 山岡 照幸



記

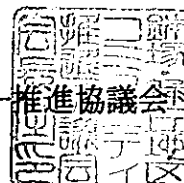
| | |
|----------|--|
| 事業の名称 | ふるさと再発見講座開催事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 池田について学ぶのは、小学3年生以降の授業の中であるが、実地に現場へ出かける機会は限られている。 2) 空港見学を取り入れてから、応募が、募集定員の3～4倍に急増しているため、実施回数の増加を検討したが、2回しかとれなかった。 3) 3回目は、池田炭と鉢塚古墳とした。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 本年も昨年同様、募集定員の約3倍の応募があったが、抽選方式を改め、各校に定員の1/2づつを割り当てる事とした。 2) 本年も企画段階および実施段階の両面で、緑丘小・附属小の教員の協力を得ることができた。 3) 池田炭について、今も炭を販売している業者の方から講話を聴くことができた。 |
| 事業の効果 | 1) 児童の日常会話の中で、大阪空港や整備工場等「ふるさと池田探検隊」で訪問した場所について語られていることから、一定の効果があったと思われる。 2) 空港見学は、依然として多くの関心を集めている。 |
| 今後の課題等 | 1) 空港見学は、平日でしか実施できないため、夏休み期間中の事業としているが、学校行事と重ならないよう留意しながら、今後できるだけ実施回数を増やしたい。 |

平成26年 5月8日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティー推進協議会
代表者名 山岡照幸



記

| | |
|----------|---|
| 事業の名称 | 市民レクリエーション大会事業 |
| 事業実施前の状況 | 1) 例年、地域住民が気軽にスポーツに親しむ機会となるよう、また、住民の体力・健康づくりの場となるよう、緑丘小グラウンドにて運動会を開催している。 |
| 事業実施後の状況 | 1) 本年度も、鉢塚・緑丘地区コミュニティー推進協議会の支援事業として開催し、多数の参加者を得た。 |
| 事業の効果 | 1) 子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加者が楽しめ、かつ体力と健康づくりの地域イベントとなった。 |
| 今後の課題等 | 1) 地域のスポーツイベントとして、本事業を継続させることが必要である。 |